



製造業 MANUFACTURING

製造業とは

製造業は、日本標準産業分類において、主として「新たな製品の製造加工を行う事業所」であり「新たな製品を主として卸売する事業所」と定義されています。

卸売

ここでいう卸売とは次の業務をいいます。

- (1) 卸売業者または小売業者に販売すること。
- (2) 産業用使用者（工場、鉱業所、建設業者、法人組織の農林水産業者、各種会社、官公庁、学校、病院、ホテルなど）に大量または多額に製品を販売すること。
- (3) 主として業務用に使用される商品〔事務用機械および家具、病院、美容院、レストラン、ホテルなどの設備、産業用機械（農業用器具を除く。）、建設材料（木材、セメント、板ガラス、かわら）など〕を販売すること。
- (4) 同一企業に属する他の事業所（同一企業の他の工場、販売所など）に製品を引き渡すこと。

なお、「扱う品目」や「卸売（販売）する先」によっては、製造業ではなく、他の業種に定義される場合があります。例えば、米・野菜などの製造は「農業」、自ら製造した製品を店舗によりその場で個人または家庭用消費者へ販売する場合（いわゆる製造小売業）は「小売業」に分類されます。

許認可

例えば、化粧品製造業の場合、医薬品医療機器等法に基づく許可など、扱う品目によって許認可が必要となる場合があります。複数の許認可が必要な場合もありますので、事前に十分確認してください。複数の許認可が必要な場合は、取得期間に余裕をもって準備する必要があります。

Point ! 事業計画のポイント・留意点

「菓子製造業」の創業計画書例を掲載しています。

多様な消費者ニーズに対応した商品開発力が重要なため、明確なコンセプトと差別化を図ることがポイントです。グルテンフリー、オーガニック、季節食材、地域食材、アレルギー対応、ローカロリーなど、ニーズを細分化することに留意してください。



製造業(菓子製造業) 創業計画書例

顧客番号		-					
------	--	---	--	--	--	--	--

(創業関連保証・再挑戦支援保証用)

創業・再挑戦計画書

大阪信用保証協会 御中

令和
西暦 ●年 ●月 ●日
(どちらかに○印を付けてください)

(申込人)

創業関連保証・再挑戦支援保証の
申込みにあたり、以下のとおり創業・
再挑戦計画を提出します。

住 所 ○○市○○町○-○

会 社 名

氏名または
代表者名 大阪 花子

1. 事業概要

開業形態	<input checked="" type="radio"/> 個人事業 <input type="radio"/> 会社事業	商号(個人) 会社名(会社)	patisserie HANA
開業(予定)住所	○○市○○町○-○		電話 06 (XXXX) XXXX
開業届出(個人) 設立登記(法人)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	開業(予定)年月日 設立(予定)年月日	令和 西暦 ●年 ●月 ●日
業 種	菓子製造業	資 本 金	(会社設立(予定)の場合) 円
許 可 等 [許可等取得が必要な場合]	(種類) 菓子製造業許可 (許可・免許・登録・認証の別を記入)	(根拠法)	食品衛生法 [取得すべき許可等の根拠法を記入(例)食品衛生法]
従業員数	1 名	取 扱 品	洋菓子・パン
		仕 入 先	<input checked="" type="radio"/> 食品(株) <input type="radio"/> 商店
開業動機・目的	以前より、近隣の主婦に無添加の菓子やパンの作り方を教えていた。 食物アレルギーに対応したクッキー・ケーキが好評で、購入したいとの要望が増えたため、 事業化する決意をした。		
開業に必要な知識、 技術、ノウハウの習得	○年から○年までの8年間、パン屋に勤務し、レシピと技術を習得した。 菓子については、自身の体質改善のため、○年ほど前から学んでいる。		
(会社設立予定の場合) 出資者・出資額			
事業協力者の住所・ 氏名・勤務先			

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

- ア 設備機械器具等発注済である。
- イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
- ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
- エ 商品・原材料の仕入を行っている。
- オ 事業に必要な許認可を受けている。
- カ 事業に必要な許認可取得未了(許認可取得見込み(申請状況や取得予定時期等)を具体的に記入してください。)
(速やかに許可申請を行い、2か月以内に取得する。)
- キ その他(具体的に記入して下さい)

3. 必要な資金及び調達の方法

必要な資金	金額	調達の方法	金額
設備資金 不動産取得費、内装工事費、敷金、入居保証金、機械設備、什器備品など(内訳) 入居保証金 1,500千円 内外装工事費 2,000千円 設備 1,000千円 備品 500千円	5,000千円	普通預金	2,500千円
		定期性預金	千円
		有価証券等	千円
		入居保証金等	千円
		設備充当等	千円
		その他	千円
		小計(A)	2,500千円
		親戚・知人等からの借入(内訳)	千円
		金融機関からの借入(内訳)	千円
		〇〇銀行△△支店	3,500千円
運転資金 仕入資金、経費支払資金など(内訳) 仕入資金 420千円 人件費 100千円 家賃 150千円 その他経費 330千円	1,000千円	〇〇銀行△△支店	3,500千円
		小計(B)	3,500千円
		合計(C)=(A)+(B)	6,000千円
		合計	6,000千円

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

仕入資金 1か月分
※1年間の仕入高の平均とした

今回の資金調達計画における借入金等を記入してください。

・人件費
創業時の人件費1か月分
・家賃 1か月分
・その他経費
経費1か月分(150千円)
+予備費180千円
※予備費を多くすることで、余裕のある計画としている

※事業開始前または事業開始後2か月未満の場合は、創業に必要な資金を全て記載してください。
※左右の合計は、必ず一致させてください。

4. 収支計画(今後1年間分)

支	出	収	入
仕入高	5,063千円	売上高	12,000千円
外注工費	千円	工賃収入	千円
人件費	1,550千円	雑収入	千円
その他費用	3,600千円		
利益	1,787千円		
計	12,000千円	計	12,000千円

【売上根拠より】
卸売 9,750千円
小売 2,250千円

【売上根拠より】
卸売 4,388千円
小売 675千円

※個人事業の場合、事業主の給与は除きます。

※利益から借入金を返済します。

5. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
一般客	年 2,250千円	現金・カード	〇〇食品(株)	年 3,800千円	月末締め翌月〇日現金払
Cafe' 〇〇	年 1,500千円	月末締め翌月末日現金回収	〇〇商店	年 1,263千円	現金
〇〇他	年 8,250千円	月末締め翌月末日現金回収		年 千円	

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

6. 借入金等状況(※)

借入先等	資金用途	借入残高	残存返済期間	年間返済額
〇〇信用金庫	自動車ローン	1,800千円	48ヶ月	450千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

(※)現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください。(経営者本人が負担している保証債務も含まれます)

7. その他(計画に関する補足説明がありましたらご記入してください)

開業後しばらくは店舗での販売のみとするが、将来的にはネット販売も行う予定。
売上が伸び、従業員を増やす余裕ができれば、営業活動も積極的に行いたい。
また、季節限定メニューを開発するなどお客さまに喜んでもらえるような商品ラインナップを充実させ、リピーターの獲得に努める。

■単価設定

クッキー・パン・ケーキ等
300円~1,500円を中心とする

■売上根拠・・・1か月25日営業で計算

・卸売(原価率45%)
創業当初は飲食店4店舗、オーガニック専門店1店舗に対して卸売
4か月目から3か月毎に1店舗の新規開拓
1店舗あたりの平均売上:5,000円/日×25日=125,000円/月
(5店舗×12か月+1店舗×9か月+1店舗×6か月+1店舗×3か月)×125,000円=9,750,000円

・小売(原価率30%)
1日5名の販売見込み(平均単価:1,500円)
1,500円×5名×25日=187,500円/月
187,500円×12か月=2,250,000円

人件費:パート100千円/月×1名、6か月目から1名追加(50千円/月)
家賃:150千円/月
その他経費:150千円/月
(通勤交通費30千円/月、光熱費50千円/月、ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)